

令和7年度事務事業評価シート

令和7年9月19日

事業番号	5711	担当課等	湯河原中学校							
事務事業名	学校支援ボランティア活用事業(湯河原中学校)									
予算科目コード	会計		款		項		目		事業開始年度	

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2021 プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	③中学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	地域の方々に関わっていただき、地域との連携を図り、生徒を育てる教育環境を推進する。								
対象	地域のボランティア								
内容	授業における教師のサポートや、学校図書館の蔵書整理などに地域のボランティアに携わっていただく。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和5年度(決算)		令和6年度(決算)		令和7年度(見込)	
	事業費	43,929	40,227	104,000		
コスト	人件費					
	常勤職員					
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	0	0	0		
	総事業費	43,929	40,227	104,000		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	43,929	40,227	104,000		
	財源合計	43,929	40,227	104,000		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
学校支援ボランティア活用実施学校数		学校支援ボランティアを活用している学校数	校	1	1	1
				0	0	0
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
学校支援ボランティアコーディネーター配置人数		学校支援ボランティアの募集等をするコーディネーターの配置実績	人	1	1	2
				0	0	0

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	学校の様々な場面において地域ボランティアに関わってもらうことで、学校環境の維持向上を図ることができる。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	学校の様々な場面において地域ボランティアに関わってもらうことで、学校環境の維持向上を図ることができる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	地域の方が多く学校現場に接してもらうことで、地域と学習の連携が図られるとともに、教育現場の透明性を図ることができる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	3	学校環境の維持向上及び透明性が確保されることで 児童・生徒の学校生活の向上につながる。
令和6年度までの自己評価または改善点		多岐にわたる内容について、学校支援ボランティアの方々に協力していただき、学校運営の向上が図られた。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	事業の性格上、学校として行う必要があると考える。
令和7年度の見直し及び改善予定	引き続き、地域との連携を図りながら、学校運営の向上を目指していく。	
令和8年度以降の方向性	今後も、学校支援ボランティアを有効に活用し、学校運営の向上を図っていく。	

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	引き続き地域のご協力をいただきながら学校運営の向上を図る。
---------	----------	-------------------------------

令和7年度事務事業評価シート

令和7年9月19日

事業番号	12469	担当課等	湯河原中学校						
事務事業名	図書等整備事業(湯河原中学校)								
予算科目コード	会計		款		項		目	事業開始年度	令和3年度

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2021 プラン 前 期 基 本 計 画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	③中学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	学校図書の充実や、多様化する学習内容へ対応していくための、教師の資質向上を図るもの。								
対 象	湯河原中学校生徒及び教職員								
内 容	学校図書館における児童用図書、教師用指導書、教育振興教材備品、特別支援教育振興備品を購入・整備するもの。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(見込)		
	事業費		1,594,471	5,991,755	1,649,000		
	人件費	常勤職員					
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	0	0	0		
総事業費		1,594,471	5,991,755	1,649,000			
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		1,594,471	5,991,755	1,649,000		
	財源合計		1,594,471	5,991,755	1,649,000		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
図書整備実施学校数			図書整備を行った学校数	校	1	1	2
					0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
図書室司書配置人数			図書とふれあう機会の提供	人	2	2	4
					0	0	0

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	文部科学省の学校図書館整備計画に基づき学校図書館の蔵書等の充実を図るもの。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	蔵書の入替え・充実を図ることで児童の利用が促進できる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	蔵書の入替え・充実を図ることで児童の利用が促進できる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	蔵書の入替え・充実を図ることで児童の利用が促進できる。
令和6年度までの自己評価または改善点	生徒用図書の整備のほか、令和6年度に行った教科書の採択替えに伴う指導用図書を整備した。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	学校図書館の蔵書整備等のため、行政として行う必要があると考える。
令和7年度の見直し及び改善予定	引き続き、学校の要望をもとに予算計上及び整備し、図書の充実を図っていく。	
令和8年度以降の方向性	生徒用図書の充実を図っていくとともに、4年に1度行う教科書の採択替えに伴う指導用図書も整備していく。	

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	定期的な整備が必要である。
------	----------	---------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	引き続き計画的な整備が必要である。
------	----------	-------------------

令和7年度事務事業評価シート

令和7年9月19日

事業番号	12470	担当課等	湯河原中学校						
事務事業名	総合的学習等推進事業(湯河原中学校)								
予算科目コード	会計		款		項		目	事業開始年度	令和3年度

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2021 プラン 前 期 基 本 計 画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	③中学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	各学年の発達段階に応じた活動や調べ学習を行い、教科にとらわれない総合的な課題などについて学習を行います。また、全教職員が参画する校内事業研究会の開催等を推進しました。								
対 象	湯河原中学校生徒及び教職員								
内 容	教職員の資質向上を図るもの。 町が推進する「花のある町づくり」に連動し、情操教育の推進を図る。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和5年度(決算)		令和6年度(決算)		令和7年度(見込)	
	事業費		313,856		519,000	
コスト	人件費	常勤職員				
		会計年度任用職員等				
		人件費合計	0	0	0	0
	総事業費		419,000	313,856	519,000	
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		419,000	313,856	519,000	
	財源合計		419,000	313,856	519,000	
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
総合的学習を実施している学校数		総合的学習による教科にとらわれない学習機会の提供	校	1	1	1
				0	0	0
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
校内研究会実施回数		教職員の資質向上を図る研究会の実施回数	回	5	5	5
				0	0	0

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	総合的な学習内容の充実を図るため、学校において事業を実施する必要がある。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	総合的な学習内容をより充実したものにできている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	総合的な学習内容をより充実したものにできている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	全生徒を対象としているため公平性を保っている。
令和6年度までの自己評価または改善点	総合的な学習等推進事業を実施することで、生徒の学習意欲の向上だけでなく、教職員の資質の向上も図られた。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	生徒及び教職員が総合的な学習を推進するため。
令和7年度の見直し及び改善予定	令和7年度からは、「外部教育力活用事業」で実施していた講演会等の開催も含めて、引き続き実施する。	
令和8年度以降の方向性	令和8年度以降は、令和7年度同様、実施していく。	

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	継続して事業を実施することにより、児童の学習意欲の向上及び教職員の資質の向上を図る必要がある。
---------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	継続実施により質の高い教育を目指していく。
---------	----------	-----------------------

令和7年度事務事業評価シート

令和7年9月19日

事業番号	5782	担当課等	湯河原中学校						
事務事業名	外部教育力活用事業(湯河原中学校)								
予算科目コード	会計		款		項		目	事業開始年度	令和3年度

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2021 プラン 前 期 基 本 計 画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	③中学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	中学校の卒業期をとらえ、生徒の調和ある心身の発達と個性の伸長を促すとともに、自らを振り返り、自己の向上と今後の充実した生き方に示唆を与えるもの。								
対 象	湯河原中学校生徒								
内 容	卒業予定の中学3年生に対して、講演会を行うもの。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(見込)		
	事業費		0	110,000	0		
	人件費	常勤職員					
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	0	0	0		
	総事業費		0	110,000	0		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		0	110,000	0		
	財源合計		0	110,000	0		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
外部教育力活用実施学校数			外部教育力活用した学校数	校	1	1	1
					0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
講演会開催回数			心身の発達や個性を伸長する機会の提供	回	0	2	2
					0	0	0

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	自己の向上として、卒業生を対象に講演会を実施しているため。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	講演会の開催により、教育活動をより充実したものにできている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	講演会の開催により、教育活動をより充実したものにできている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	毎年、卒業生を対象としているため公平性を保っている。
令和6年度までの自己評価または改善点		引き続き、外部講師を招聘して講演会等を開催し、学校教育活動の充実が図れた。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	講演会を開催することで、生徒の教育活動の充実を図るため。
令和7年度の見直し及び改善予定	令和7年度から「総合的学習等推進事業」に統合し、事業のスリム化を図る。	
令和8年度以降の方向性	「総合的学習等推進事業」に統合後も引き続き、外部教育力を活用した講演会等を開催する。	

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(見直し)	「総合的学習等推進事業」に統合した後も、学校教育活動の充実を図るため、引き続き外部教育力を活用した講演会等を開催する必要がある。
---------	---------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(見直し)	より柔軟に対応できるよう、総合的学習等推進事業へ統合することを検討する。
---------	---------	--------------------------------------

令和7年度事務事業評価シート

令和7年9月19日

事業番号	5723	担当課等	湯河原中学校							
事務事業名	普通救命講習会開催事業									
予算科目コード	会計		款		項		目		事業開始年度	平成25年度

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2021 プラン 前 期 基 本 計 画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	③中学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	総合学習の時間で普通救急救命講習会を開催し命の大切さを学ぶ。								
対 象	湯河原中学校2年生								
内 容	普通救急救命講習会(人口呼吸、AEDの取り扱い等)を開催し、不測の事態に備えられるようにする。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和5年度(決算)		令和6年度(決算)		令和7年度(見込)	
	事業費	84,000	0	84,000		
コスト	人件費					
	常勤職員					
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	0	0	0		
	総事業費	84,000	0	84,000		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	84,000	0	84,000		
	財源合計	84,000	0	84,000		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
普通救命講習会開催学校数			校	1	1	1
				0	0	0
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
普通救命講習会開催日数			日	5	5	5
				0	0	0

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	総合学習の時間を使い実施している。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	5	消防本部の協力を得て実施している。
類 似 性	他事業との類似はないか		
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	人工呼吸やAEDの使い方を学ぶことによって、不測の事態に備えるとともに命の大切さを学ぶことができる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	受講は2年生全員を対象としている。
令和6年度までの自己評価または改善点		令和6年度は、引き続き講習会を実施し、生徒が人口呼吸のやり方や、AEDの使い方を身に付けることができた。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 事業の性格上、学校として行う必要があると考える。
令和7年度の見直し及び改善予定	普通救命講習を実施し、不測の事態に対応できる力が生徒に身に付くよう引き続き実施していく。
令和8年度以降の方向性	今後も同様に実施していく。

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	人口呼吸のやり方やAEDの使い方を学ぶことで、不測の事態に備えるとともに命の大切さを学ぶことができるため、必要である。
---------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	感染症対策に留意しながら人命救助の啓発を継続する。
---------	----------	---------------------------